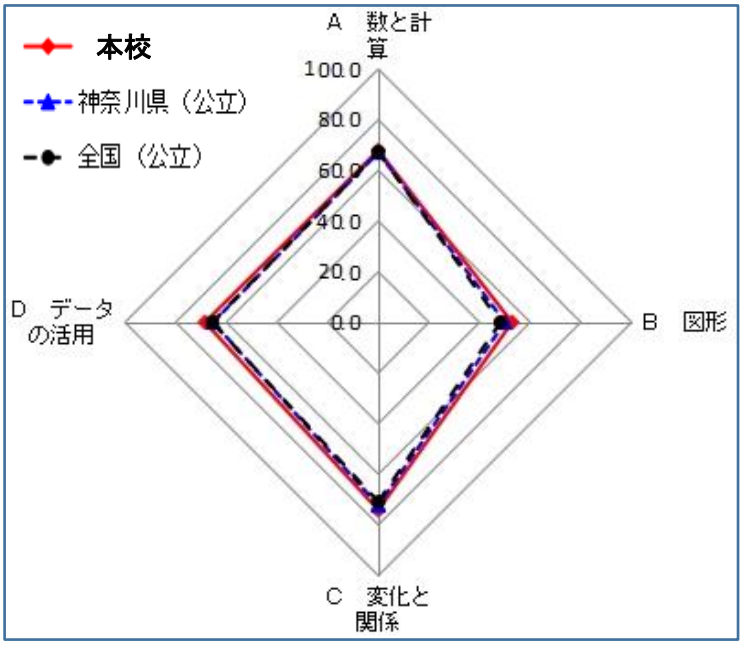
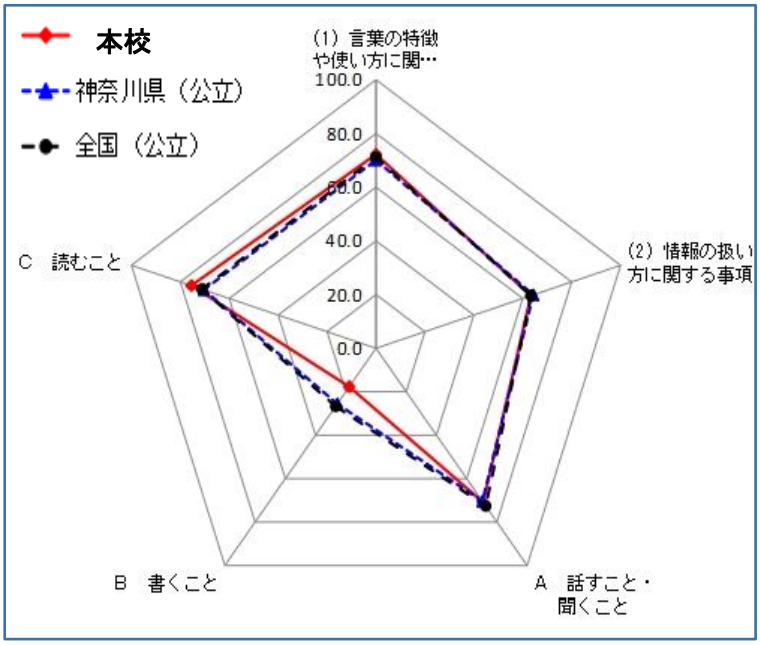
令和５年度　全国学力学習状況調査の結果について

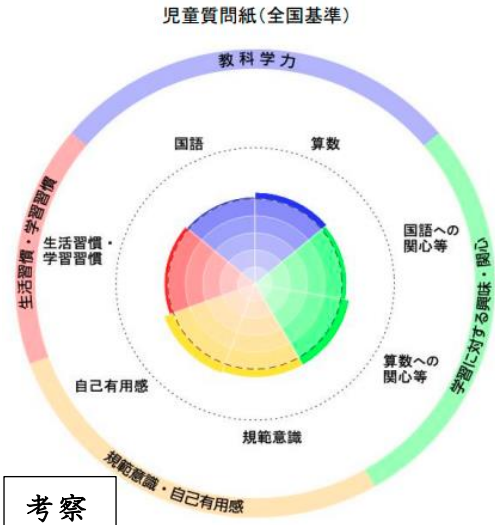
今年度の４月、６年生を対象に全国学力学習状況調査が行われました。名瀬小学校の主な結果と、考察について公表いたしますので、ご照覧ください。

算数	児童数	平均正答数
横浜市立名瀬小学校	79	10.4 / 16
神奈川県（公立）	68,739	10.1 / 16
全国（公立）	964,350	10.0 / 16

国語	児童数	平均正答数
横浜市立名瀬小学校	79	9.4 / 14
神奈川県（公立）	68,738	9.3 / 14
全国（公立）	964,177	9.4 / 14







〈全国・神奈川平均より肯定的な回答が上回っていた児童質問の一部〉

- 朝食を毎日食べていますか
- 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか
- 将来の夢や目標をもっていますか
- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか
- 学校に行くのは楽しいと思いますか
- 自分とちがう意見について考えるのは楽しいと思いますか
- 友達関係に満足していますか
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談ができますか

考察

国語「読むこと」に関して、全国の平均を上回っており、国語の学習での関連読書や、他教科での調べ学習のための図書利用を通して、本に親しむ時間が増えることで、理解が高まっているといえます。算数「データの活用」では、全国平均を少し上回っており、これは、普段の学級や委員会等、ロイロノートスクールでアンケートを取り、その情報を活用しながら、活動を進めていることも、理解につながっていると考えます。今後も、子どもたちの学習意欲を高める取り組みを推進してまいります。

一方で、国語「書くこと」では全国・神奈川の平均を大きく下回っており、文字を正しく活用することに苦手意識をもつ児童が多いことが分かりました。朝に取り組んでいるスキルタイムの時間に文字に触れる時間を設けたり、実際に書く時間を学習活動の中で増やしたりすることで定着を図ってまいります。

児童の実態としては、先生との信頼関係や、学校に対する安心感ついての肯定的な回答が多く見られています。これは、定期的に行っている安心アンケートや、担任と行っている「ミニ日記」など、子どもと１対１で話せる機会を作っていることも一つの要因と考えます。卒業まで、継続して取り組んでまいります。